

そよかぜ

通信

発行責任者

北本市議会議員 **金森すみ子**



〈2024年10月No.22〉

連絡先 金森すみ子とあゆむ会
北本市東間8-230-172

電話・Fax 048-542-8794

e-mail yts1171124914@gmail.com

キンモクセイの香りが秋の到来を感じさせてくれます。9月定例会は1ヶ月程の長丁場となりますが、私は、この期間で議員メンバーとの議会談義に勤しんでいます。議員同士でなければ話し合えないことも多く抱えていますので、自身の会派内は勿論、隣接する他会派の方々とのやり取りは大変有意義です。いろいろな考えを聴いて、自分の考えを整理して、言葉に表すと、学びになっています。議員としての資質向上につなげたいです。「そよかぜ通信No.22」につきましては、選挙期間の配布を自粛させていただいています。



令和6年第3回北本市議会定例会 が開催されました (8/27~9/27)

- ・ 市長からの提出議案 → 決算7件、条例改正3件、補正予算5件、人事案3件、など合計20件
- ・ 議員からの提出議案 → 請願1件、意見書1件



教育長が新たに任命されました (令和6年10月~任期3年)

教育長の神子(かみこ)修一氏は、民間出身の新たな視点で北本市の教育の推進に努めてきましたが、今年9月に3年の任期が満了しました。市長は、**新たな教育長に宮尾 孝(みやお たかし)氏61歳**を任命したいと議会に提案し、全会一致で同意されました。

～ 宮尾 孝 新教育長 のプロフィール ～

桶川市・北本市の中学校社会科教諭 → 北本市教育委員会 → 埼玉県教育局
→ 西中教頭、栄小校長 → 埼玉県教育局 → 北本中校長、埼玉県中学校長会会長
→ 北本中校長(再任用) → 東中校長(再任用、～R6年9月)



新教育長の考えとしては、

- ・ 児童生徒が通って良かった、教職員が勤務して良かったと思える学校づくり
- ・ 子どもたちが、北本を離れても将来は戻ってきたいと思えるように
- ・ 不登校児童生徒については、ありのままを受け入れ要因を探っていく...とのことでした。

「教育委員会(教育長)」は、市長から独立した機関として設置され、中立的・安定的な教育行政を担当しています。“教育長の任命権”と“教育予算の権限”については、共に市長に



有りますので、教育長には、市長の考え方もバランス良く教育行政に反映させる能力も必要となります。このことから、議会では、**教育長の案件は、北本市のより良いまちづくりに繋がる重要な事項と捉えています**。同意するにあたり、宮尾氏が教育長としてふさわしい方なのか、人物の確認の場を設け、教育への考えや方針などをお聴きました。

これからの子どもたちは、自ら課題を発見し、仲間と力を合わせて、主体的に解決へ向かっていく力が必要とされており、その力の養成を学校現場は求められています。宮尾新教育長は、“人間関係づくりについての特別授業”をしてきたとのことで、“人育て”に期待し、生涯学習にも力を入れていただきたいと思います。

令和5年度決算 慎重な審議の結果、認定されました



《決算の一覧》

	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)
一般会計	264億 543万円 (+3.8%)	251億 1,403万円 (+4.9%)
後期高齢者医療特別会計	10億 9,950万円 (+3.5%)	10億 7,003万円 (+3.5%)
被保険者数は11,777人(前年度比+534人)、1人当たりの補助費(医療費等)は90,654円(前年度比-1,094円)		
久保特定土地区画整理事業特別会計	5億 4,791万円 (+25.6%)	5億 2,532万円 (+28.0%)
基盤整備工事等を進めて事業費が3億 3,340万円(前年度比+52.8%)に増加		
国民健康保険特別会計	64億 8,389万円 (-4.2%)	63億 8,029万円 (-2.9%)
被保険者数は13,119人(前年度比-835人)、1人当たりの補助費(保険給付費等)は47万3,114円(前年度比+18,902円)		
介護保険特別会計	56億 9,488万円 (+5.4%)	54億 4,130万円 (+7.0%)
被保険者数は21,351人(前年度比+88人)、1人当たりの補助費(保険給付費等)は24万3,108円(前年度比+14,890円)		
埼玉県央広域公平委員会特別会計	50万円	27万円

《北本市の財政の健全性は？》基準値を下回っており、堅実な運営と判断できます。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度
実質公債費比率 (基準値 25.0%) 市の平均的年間収入に対する借返済額の割合	7.9%	7.9%	7.3%	7.4%	7.3%
将来負担比率 (基準値 350.0%) 市の平均的年間収入に対する将来支払う負担額の割合	算定されず	算定されず	4.8%	18.9%	27.1%

新たな市債(借金)は、前年度比+30.3%(新中央保育所の建設、道路整備、などのため)です。国からの地方交付税(市財源の補てん分)は、前年度比+10.7%でした。北本市土地開発公社を不要になったとして解散し、残ったお金である4億3,200万円を基金(貯金)としました。ふるさと納税から基金への積み立てなどもできており、借金を上回る貯金があるとして、将来負担比率は算定されませんでした。



一般会計

…一般的に必要な行政サービスに伴う会計です。

＜歳入＞…会計年度における市の収入のことです。

▶ **市税は、90億 2,476万円** (前年度比+0.7%)

歳入の根幹をなすもので、歳入全体の34%を占めます。中でも多いのは下記の2つです。

- ・ 個人市民税 38億2,460万円(前年度比+0.4%)
 - ・ 固定資産税 37億9,717万円(前年度比+1.4%)
- ▶ 戸建て住宅や大型物件の新築などで
家屋数全体が増加しました。



▶ 令和5年度ふるさと納税は、11億9,589万円、4年連続の埼玉県内1位です

	令和5年度（前年度比）	令和4年度（前年度比）	令和3年度（前年度比）
北本市への ふるさと納税額と件数	11億9,589万円（+7.7%） 8,790件（+20.5%）	11億1,018万円（+22.3%） 7,295件（+19.0%）	9億745万円（+51.2%） 6,128件（+56.8%）
ふるさと納税に係る経費 （返礼品、宣伝、返礼品拡充など）	5億3,163万円（+12.1%）	4億7,408万円（+28.3%）	3億6,943万円（+49.5%）
北本市住民が他自治体へ ふるさと納税した場合の 市税減少額（個人住民税控除）	1億7,546万円（+14.9%）	1億5,275万円（+26.4%）	1億2,089万円（+32.2%）
市の実際の収益	4億8,879万円（+1.1%）	4億8,335万円（+15.9%）	4億1,713万円（+59.5%）

収益は「ふるさと応援基金」に積み立てられます。

この基金から、令和5年度には3億5980万円を
事業に活用しました。（ふるさと応援基金の充当）



ふるさと納税については、他自治体でも税収を減らさない
為に力を入れざるを得ない状況です。本市でも返礼品の品
揃えやPRの工夫をしていますが、収益の大きな伸びは難しく
なっています。経費を減らしたいところですが、現状では仲
介業者への委託が効率的で最善とのことで、注視します。

<子育て> 子ども医療費1億840万円、新中央保育所整備3,714万円、深井保育所完全給食導入252万円、
民間保育施設等補助3,683万円、3歳児健診機器68万円、その他子育て応援支援1,887万円、
通学路AI予測サービス33万円

<健康> 予防接種6,000万円、体育センター柔道場畳更新85万円、

<安心安全> 新ごみ処理施設整備基金積立5,000万円、 <みんなで参加するまち> コミュニティ振興150万円、

<活力あるまち> 商工会・観光協会補助1,500万円、文化財関連100万円、

<健全で開かれたまち> 広報紙発行650万円、駅東西自由通路等カメラ更新341万円

<定住移住促進> 森林セラピー250万円、シティプロモーション推進777万円、農業ふれあいセンター維持管理599万円



<歳出> …会計年度における市の支出のことです。主なものを見てみますと…

	支出額 （前年度比）	構成比率
民生費（高齢者・障がい者・児童・子育てへの福祉、 生活保護費用など） ↑ < 障がい者福祉サービス利用の増加、子ども医療費の増加、住民税非課税世帯給付金、新保育所建設費など >	111億5,447万円（+7.3%）	44.4%
総務費（情報システム・税金徴収などへの経費、 人件費、委託料など） ↑ < 市土地開発公社の解散により残った4億円余りを、公共施設整備基金へ積み立て >	45億1,352万円（+9.7%）	18.0%
教育費（小中学校、生涯教育など） ↑ < 令和5年度は小中学校給食費無償化で2億4千万円、学校や公民館等の修繕など >	22億727万円（+19.0%）	8.8%
公債費（借金返済） ↓ < 市債の残高は10億5千万円ほど減っています >	21億1,172万円（-9.9%）	8.4%
衛生費（し尿・ごみ処理、健診委託など） ↓ < 新型コロナウイルスワクチン接種の実施回数が1/3程に減少 >	18億9,223万円（-6.9%）	7.5%
土木費（道路・橋・河川の維持、公園整備など） ↑ < 道路の改修・維持補修が増加 >	18億8,184万円（+10.7%）	7.5%
消防費（県央広域事務組合負担金）	9億2,898万円（+1.8%）	3.7%

金森すみ子の一般質問

① 指定管理者制度の適切な運用について

問 北本市の公の施設の運営管理は、20年程前に行政改革の名のもと“指定管理者制度を導入”し、指定管理者(NPOや民間事業者など)によるものがほとんどです。施設運営の適正化・効率化を図るとしてきましたが、昨今では、市民サービス向上に繋がっていない等の報道もあります。本市での①課題、②各施設の特性に合った指定管理者の選定、③過去の指定管理者制度運用の検証と課題整理の実施、について問います。



答 ① 施設の担当課は、指定管理者と協定締結をした段階で全ての責任までも委任したと誤認してしまう可能性があり、市の直営とは違い管理運営をしている意識を持ち難くなります。また、施設の管理運営業務に精通した職員が少なくなっていくと、指定管理者に対し適切な指導監督ができない事態が発生しかねないと考えます。

② 指定管理者の選定の際に、施設ごとの特性やニーズに応じた専門家を選定委員に加えることで、専門的な視点や意見が反映されやすくなると認識しています。より適切な指定管理者の選定につながることも考え、検討していきたいと思います。

③ 担当課のノウハウの欠如やコストメリットが見え難くなる等が考えられるので、指定管理者制度の運用の課題整理について先進自治体を参考にしていきたいと思います。



各施設で求められているサービスとは何か、市民が安心できる生活は効率化だけでは得られません。その見極めができる行政であるよう、速やかな検討を望みます。

② 防災の取り組みによる“まちの活性化”について

「機能別消防団員」の導入について提案しました。機能別消防団員は、「大規模災害限定の活動」や「消防団PR・火災予防等の広報限定の活動」など、正規団員の役割の補完になると言われています。身近で関心が高くなっている“防災”を目的としたコミュニティづくりとなり、若い世代が地域へ関わる機会を増やせるのではと考えています。自主防災会については、立ち上げだけでなく、市による支援強化、市民への積極的な周知、を求めました。



③ 誰でも使いやすい公共トイレについて(市役所庁舎内)

昨今では、高齢者や前立腺がんなどの病気の後遺症で、尿漏れパッドなどを使う方が増えていて、男性トイレへのサニタリーボックスの設置の需要が高まっています。本市の市役所内では2年前に既に対応していますが、その検証と利用したい人への周知を掲示やホームページ等で進めるよう求めました。

④ 雨水タンク購入費補助について

近年は短時間集中豪雨も頻繁となり、益々浸水被害の危険性は高まっています。市民の防災への関心も更に高まっていると捉え、本市の雨水タンク設置費用への補助を求めました。浸水被害を軽減、断水時に生活用水として活躍します。平常時には、節水となりCO2の排出も抑えます。



⑤ デーナタメ遺跡の今後の展開について

今年10月に国指定史跡となり、デーナタメ遺跡の今後の取り組みについて問いました。

⑥ 市民の声を聴き活用する取り組みについて

行政も市民も自分事として捉えられるまちづくりが大切と考え、行政側の市民の声を活用を問いました。

..........*..... 議員提出議案 *.....*.....*.....

▶ 「日本政府が核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバー参加することを求める意見書」の国会提出を求める請願 …全会一致(退席議員あり)で採択され、意見書を国へ提出。